



# 看護部通信

2019年8月



秋田の8月は竿灯祭りを筆頭に、七夕絵どうろうまつり、能代役七夕、西馬音内盆踊り、花輪ばやし、毛馬内盆踊り、各所花火大会と行事が目白押しです。昨年、秋田県人誰もが夢中で応援した夏の甲子園全国高校野球選手権大会の開幕もあり、秋田の短い夏、けれども本格的に暑い夏を迎えます。そして、リハセンはこの8月に病院機能評価を更新受審します。職員一丸となり、暑い夏を乗り切り認定を目指しましょう。(看護管理室)

## よろしくお願いします

外来 T

育児休暇が終わり、仕事に復帰してから早3ヶ月が過ぎました。子供は保育園デビューで私は職場復帰。そして、復帰とともに外来へ異動となりました。初めての環境だけれど、お互いに頑張りましょう！ と思いつつも初めての環境に不安と戸惑いと緊張でいっぱいな気持ちでした。

そんな気持ちも、先輩方の優しさや気遣いと楽しい雰囲気のおかげで今はすっかり薄れ、毎日楽しみながらたくさんの方の事を勉強させて頂いています。未だに病棟勤務との違いに戸惑うことも多々ありますが、少しずつ確実に外来業務を覚えていきたいと思っています。

これからもよろしくお願いします。



復帰後の生活に慣れるまでは大変でしょうが、子育てと仕事の両立を応援していますよ！

## 本を紹介します



外来 S

先日読んだ本、『驚きの介護民族学（六車由実著）』がとても心に残ったので紹介します。

軽度から中等度の認知症を患う老人ホームの利用者の子供から青年期の記憶はかなり鮮明で、電話交換手や旅館の仲居、蚕の鑑別嬢などで生きてきた人の話を聞き書きした文章は、今と異なる文化や家族の関係性などが細かく記載され、そんな歴史があって現代に続いていることを感じました。認知症の方の「同じ問いの繰り返し」はその方によって内容に特徴が出ており、「あなたは何町」で始まり、最後に「それじゃ、今度うちに遊びにいらっしやい」という言葉で終了する女性は、地域の婦人会のリーダーとして生きてきた方で、一連の問答には地域のリーダーとして活動してきた「生きる方法」が見てとれ、「同じ問いの繰り返し」は「同じ答えの繰り返し」がひと時の安心につながるのではないかと書かれており、その解釈にとっても納得できました。

もし、自分の人生の最後にこのように聞き書きしてくれる人がいたとしたら、私は自分の半生をどう語るのかなと想像してしまいます。皆さん、興味があったら読んでみてください。



私もその解釈に納得してしまい、この本を是非読んでみたくなりました。